

第1回 開催報告

【北部中学校区】

（出席者）参加者：25名

ファシリテーター：3名

1 開催結果

【Aグループ】

北部中学校区Aグループでは、「独居高齢者の増加」「地域活動の継続性」「子ども会と通学の見守りの問題」が、今後6年間で取り組んでいくべき優先課題として選定されています。

「独居高齢者の増加」については、見守りや安否確認の問題について意見が多くあげられました。安否確認のために訪問しても気づかれないことも多く、近くの人が見守る体制づくりも必要である、という意見が出ています。また、一人暮らしの高齢者も地区活動に参加したい気持ちはあるものの、様々な制約で参加できないことが心の負担となっている、という問題も指摘されています。

見守りの問題に関連して、見守り体制強化のため、それぞれ保護活動を行っている民生委員、区、地域の警察官の連携の必要性がある、という意見があがっています。また、「地域活動の継続性」について、アパート住民の地域活動の参加が少ない、年間行事が減っているなど、担い手の不足や参加者の縮小などによる地域活動の継続性への課題があがっています。

「子ども会と通学の見守りの問題」については、働く母親が増えていることにより子どもを支える活動が低調となっていること、子どもの通学時の見守りが少ないことが課題にあげられました。草井地区では「草井を元気にする会」を発足させ、子どもを支える活動を独自で行っている、という好事例も聞かれました。

グループを通じた話し合いのキーワードとして「見守り」という言葉が出ており、一人暮らし高齢者、子どもに対する見守りを通じた、安心して暮らせる地域づくりが求められています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした。江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

- ・障害のある人や一人暮らし高齢者の生活保護受給者に対する支援
- ・空き家対策
- ・高齢者の移動支援
- ・市役所支所機関の機能充実

参考 意見一覧

魅力

- ・すいとびあ江南があり、多くの人が集まれる場がある
- ・史跡が多くあり、その遺産を利用して世代を超えての交流が考えられる
- ・すいとびあ江南周辺の河川敷に人が多く集まり、ジョギング等スポーツを楽しんでいる
- ・比較的、公共施設や商業施設等が近くにある(すいとびあ公園、ピアゴ、グラウンド等)
- ・音楽寺のあじさい祭りについて、地域の交流、コミュニケーションを図っている
- ・山がない分、川がある
- ・住みやすさ ・生活するのに便利(インフラ)
- ・自然災害が少ない
- ・近所付き合いがよい(田舎?)情報が入りやすい(人間性)
- ・小学校通学見守りがしっかり成されている
- ・実年世代の方が子どもに向けての活動を支えておられる
- ・般若地区は区会、老人会との関係が良く、いろいろな行事に大勢参加している
- ・資源ゴミ収集がしっかり成されている
- ・奉仕の気持ちを持った人が多い地域(スクールボランティア、地域サロン等)活動が始まっている
- ・地区運動会が何とか続いている
- ・般若地区。サロンを通じてひとり暮らしの人を外に呼び出すようにしている
- ・般若地区は、高齢者については民生委員がこまめに回って現状を把握している
- ・般若地区(ボラ・防災) KSV活動を積極的に行っている
- ・般若地区。防災については年一度は必ず火事の訓練等を行っている

課題 意見一覧

分野		課題
子ども	子ども会と通学の見守りの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・働く母親が増えている。子どもの活動の支え ・子ども会活動が低調 ・子ども会がない ・通学の誘導員がない。(草井を元気にする会27名が対応)
障害者(児)		<ul style="list-style-type: none"> ・般若区。障害者については、心の問題についてはなかなかわからない ・ひとり暮らしの生活保護受給者の不安

分野		課題
高齢者	独居老人	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者にとって、地区活動に参加できないことが心の負担 ・高齢者の独居が多い（約40人） ・地域に単身の高齢者が増えている ・高齢者のひとり住まいが増える。近くの人が助け合えるように見守る体制づくりが必要 ・高齢者の問題（独居老人） ・高齢者宅の安否確認の方法
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの生活保護受給者の不安
地域活動	地域活動の継続性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な人の心配等内容が伝わりにくい（本人からの情報が） ・民生と区政のタイアップができていない ・アパートの住民の地域活動参加が少ない ・自治会等の役員のなり手がいない ・年間の行事がなくなっていく
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における催しが少ない ・各地域の集合場所及び会合
ボランティア・市民活動		<ul style="list-style-type: none"> ・般若区、ボランティアは若い人が少ない
防災	空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えている。雑草の問題等で困っている（火災、防犯）
その他	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動支援が少ない（バス等） ・公共交通機関が不十分で買い物や外出が大変。高齢者、乳幼児子育て中
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーパーク内にもう少し遊ぶ所を充実したらどうか ・支援をするのに市役所、社協が遠い。（支所に支援機能がない、支所機能の充実が必要）

北部中学校区A

魅力

新しいものが
あり、多くの人が
暮らしている

定額、ロウカ
の道着を利用し
世代を超えての
交流が盛ん

ストロベリー
の川、人が多く
集まり、イベント
も開催されている

大規模な公園
があり、自然
環境が素晴らしい

音楽やダンスの
教室、習い事
が盛ん

山が近い、水
がきれい

自然環境
が素晴らしい

生活するに
便利
(インフラ)

課題

子ども

1人1人の
個性が
活かせる
環境が
必要

通学、通学
の負担
が大きい
（徒歩、自転車
など）

アパ調

子ども会と
通学の
見守り
問題

子ども会
の活動が
少ない

障害者(児)

障害者
に対する
配慮が
不足している

障害者
に対する
理解が
不足している

高齢者

一人暮らし
の高齢者が
多い

高齢者の
健康
維持が
課題

高齢者の
生活
支援が
必要

高齢者の
生活
支援が
必要

高齢者の
生活
支援が
必要

見守りの体制をどう作るか！
民生・区・警察・連絡が
とれない

地域活動

近所付き合い
が盛ん

小学校通学
見守り活動が
盛ん

夏祭りの
準備が
盛ん

町内会
の活動が
盛ん

高齢者の
生活
支援が
必要

高齢者の
生活
支援が
必要

高齢者の
生活
支援が
必要

ボランティア・市民活動

ボランティア
の活動が
盛ん

ボランティア
の活動が
盛ん

防災

防災意識
が低い

防災意識
が低い

地域活動の
継続性

藝家

その他

公共交通

公共交通
の改善が
必要

公共交通
の改善が
必要

【Bグループ】

北部中学校区Bグループでは、移動手段の問題や、近所づきあいの問題について多くの意見があげられました。

移動手段の問題については、交通の便が悪いという意見が多くなっています。また、一人暮らし高齢者が増えていることから、移動手段が少ないことで買物の不便や集いの場への参加に制約が出ている、といった課題が指摘されています。高齢者の集いの場に関しては、サロン活動が盛んである、という声がある一方で、活動が少ない、という声もあり、地区によってバラつきがあることも課題となっています。

「人とのつながりが多い」ことが魅力として多くあげられていますが、古くから住んでいる住民が多く、顔の見える関係づくりができていない地区も多い反面、古くからの住民と新しい住民の交流機会が少ないことが課題としてあげられています。それに関連して、地域の協力意識を高め、担い手を増やしていくことが必要である、という声があがっています。

Aグループと同様、子どもの登下校時の見守りや、子ども会活動の縮小についても課題があげられました。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした。江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

- ・空き家対策
- ・公共交通機関の充実
- ・防犯灯の設置
- ・道路が狭い

参考 意見一覧

<p>魅力</p> <p><住環境が良い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かではある ・静かである ・田畑が多く、静かで住みやすい ・土地がゆったりしている ・自然が豊か ・フラワーパーク、すいとびあ江南等、ウォーキングで行ける所が多い ・厚生病院、ピアゴ等必要施設が近い <p><地域活動が盛ん></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンがある ・月1回のサロン活動がある ・老人クラブやサロンが活動的 ・子ども会、老人会活動がある <p><人とのつながりが多い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さん親切であること ・昔ながらの親戚付き合いや近所付き合いがある ・古くから住んでいる住民が多い ・近所付き合いも多く、よくわかり合っている ・世帯数が少ない分、区民のつながりが強い ・世帯数が少ないので、隣り地域の人の顔が覚えられる ・高齢者が多い。三世帯所帯が多い ・側道沿いの方が、下校中の子どもを見守ってくださる ・子どもの遊ぶ声が聞こえる

課題 意見一覧

分野	課題
近所付き合い	<ul style="list-style-type: none"> ・負担が大きいため、パトロール隊をつくっていない ・50年来の知り合いと新しく入られた方と、どのように交流すればよいか ・古くからの住民と新しい住民との話し合いの場が少ない。意思疎通ができない ・分譲住宅が増え、新しい人との付き合いが難しい ・元々住んでいる人の中に入ってきた若い世代の人達との交流の場が少ない
老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート。グラウンドのトイレがない
地域の協力意識	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方に20時の防犯パトロールは負担 ・乳児・幼児を抱えている世代は資源ゴミの立ち当番が負担（早朝） ・民生委員等役職のなり手が少ない
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・交通（公共）の便が大変悪い ・移動の手段が少ない ・ひとり暮らし高齢者、買い物等移動手段に困る ・交通手段がない。高齢になり車の運転ができなくなる ・市としては、高齢者対策としてタクシー補助があるが、若年者でも必要な人がいる ・交通の不便さ。バス、コミュニティバス ・買い物する所が遠い（小さいお店が少ない）

分野	課題
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の管理の問題 ・明かりが少なく、夜暗い ・空き地の雑草が多く、地主さんに気を付けていただきたい。ごみ捨て場になっている ・防犯灯（ミラー等）の設置
ひとり暮らしの増加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が集う場所が少ない（喫茶店ぐらい）。知らない人が多い ・老人会がない（サロンはあります） ・老人クラブが解散してしまった ・ひとり暮らしの老人が多い ・ひとり暮らしが多い ・死亡したときに情報が入らなくなった
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地と学校が距離があるため、子どもが一人で下校してくることがある ・子ども会がなくなった ・小学生集団登校時の人数が少なくなっている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車の規制はあるが、中型でも重量のある車が狭い道路を走る ・通学路が狭い。歩道区分？



【Cグループ】

北部中学校区Cグループでは、「独居高齢者の増加」「地域役員についての課題」「情報不足の課題」が、今後6年間で取り組んでいくべき優先課題として選定されました。

「独居高齢者の増加」については、公共交通機関の少なさ、運転免許の返還などから買物について不便を抱えている人が多いこと、家族介護の問題、生活支援の必要性などについて意見があげられました。

「地域役員についての課題」については、役員のなり手がいないこと、役員の負担が大きいことが課題としてあげられています。またそれに関連して、Aグループ、Bグループと同様、地域活動参加者の縮小化、少子化による子ども会の運営についての課題があがっています。

「情報不足の課題」については、「お助け隊」として活動している人がいる、という話が出たことをきっかけに、福祉やボランティアについての情報が十分に発信されていないことが課題にあがりました。地域で困りごとを抱えている人の情報が把握できないこと、災害時の要支援者に対する支援方法が確立できていないことなども、情報不足に関連する課題としてあげられています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした。江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

- ・障害のある人への就労支援
- ・道路の幅員の問題

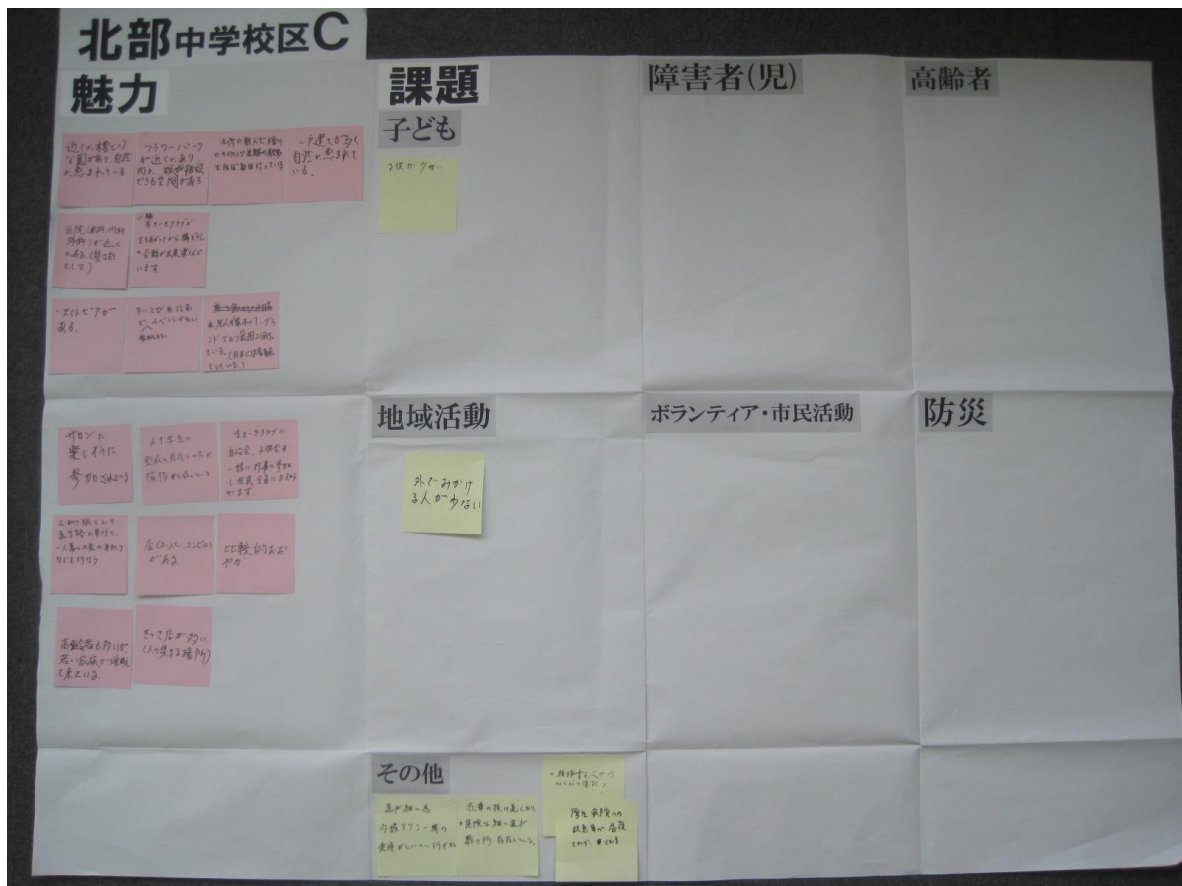
参考 意見一覧

魅力

- ・近くに木曾三川公園があり、自然に恵まれている
- ・フラワーパークが近くにあり、内に雑談できる空間がある
- ・近所の数人で木曾川のサイクリング道路の散歩をほぼ毎日行っている
- ・一戸建てが多く、自然に恵まれている
- ・医院（歯科、内科、外科）が近くにある（質は別として）
- ・小脇生いききクラブが立ち上がってから、隣同士の会話ができて楽しんでいる
- ・すいとびあ江南がある
- ・すいとびあ江南で、参加しやすいイベントが多い
- ・老人が集まって、グランドゴルフに週2回行っている（月末には食事会としている）
- ・サロンに楽しそうに参加されている
- ・小中学生の登校の見守りの方があいさつを促している
- ・小脇生いききクラブに自治会、子ども会等一緒に行事に参加し、住民全員にお知らせします
- ・お助け隊として、通学路の草刈り、ひとり暮らしの家の草取りなども行う
- ・店（スーパー、コンビニ）がある
- ・比較的穏やか
- ・高齢者も多いが、若い家族が増えてきている
- ・喫茶店が多い（人の集まる場所）

分野	課題
独居高齢者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者家庭が多くなっている ・独居の人で、最近、運転免許証を返却したため、買い物の量が多いと自転車に乗れず、困ったことがある ・買い物に公共交通機関が少ない ・老夫婦で生活していて、畑の草取りが大変で困っている ・空き家が増えてきている ・独居の高齢者が多い ・地域の責任者選出が決まらず（区長、組長等） ・放置されている土地が増えている ・国の方針もあり、家庭で介護されている人の生活の質の問題が心配になってきた ・高齢者の買い物難民問題。介護者の助成。免許返還した後の交通手段
地域役員についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の運営が少子化で困難 ・地域で仕事をしている人が減少。地域活動参加者が少なくなりつつある ・役員の方への負担（時期、精神）が大きく、担い手が見つけにくい ・地区行事への参加者が決まってしまうている ・役員の方への口出しをする人が多い ・老人会の催し物に参加する人が、限られた人しか参加しない

情報不足の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・フットケアのボランティアさんの人数不足 ・ボランティア活動では、会員を募集しても集まりが少ない ・福祉活動がよくわからない人が多いよう ・地域の情報が入りづらくなってきている ・災害時は独居高齢者の安全避難の方法が確立されていない ・防災無線が聞こえにくい
障害者の生活課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の生活の質、安定を確立されるための就労がうまくいっていない場合がある
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・外で見かける人が少ない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・道が細いため、介護タクシー等の乗降がしにくいところがある ・渋滞の抜け道になり、危険な細い道が数ヶ所存在している ・挨拶する人が少なくなってきた ・厚生病院への救急車が、昼夜問わず通る



北部中学校区C

独居高齢者の増加

高齢者が増えている。
 高齢者の増加に伴って、地域の活性化や交流の促進が求められる。
 高齢者の増加に伴って、地域の活性化や交流の促進が求められる。
 高齢者の増加に伴って、地域の活性化や交流の促進が求められる。

障害者生活課題

障害者の生活課題
 障害者の生活課題
 障害者の生活課題

情報不足の課題

アウトドア
 ボランティア
 人数不足
 福祉活動
 参加者が少ない
 地域情報
 不足している
 高齢者
 生活課題
 解決策
 検討中

地域役員への課題

地域役員への課題
 地域役員への課題
 地域役員への課題
 地域役員への課題
 地域役員への課題

2 第2回に向けた人物設定

優先課題① 一人暮らし高齢者の増加への対応

各グループでの関連する意見

Aグループ…一人暮らし高齢者への見守りの強化が必要。

見守り体制強化のため、民生委員、区、警察官の連携の必要がある。

Bグループ…サロン活動の実施地区にバラつきがある。

B・Cグループ…移動手段が少なく、買い物などに不便を感じている高齢者が多い。



Aさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・30年以上集合住宅に住んでいる女性高齢者（80歳代）。
- ・一人暮らしで、足が少し悪く、外出することが難しい。
- ・人づきあいがあまり好きではなく、近所に頼れる人がいない。ごみ出しなど、日常生活のちょっとしたことに不便を感じている。
- ・サロンが近くにない。人づきあいが好きではないのでわざわざ遠くのサロンに行くのは気が引けるが、健康づくりのためにも、近くにあるなら少し行ってみてもいいかもしれないと考えている。

優先課題② 地域での交流機会の充実

各グループでの関連する意見

Aグループ…アパート住民の地域活動への参加が少ない。

子どもの通学時の見守りが無い。

B・Cグループ…古くからの住民と新しい住民の交流が少ない。

A・B・Cグループ(共通)…少子化による子ども会活動の縮小。



Bさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・転入してきて1年程経つ、小学生の子どもを持つ母親。（40歳代）
- ・地域のイベントや行事が開催されていることは知ってはいるが、働いていてあまり地域にいないことから近所づきあいも少なく、そういった場所にも参加しづらく感じている。
- ・子どもの防犯面からも、地域で顔の見える関係づくりができればいいな、と思っはいるが、きっかけがつかめないでいる。
- ・働いているので昼間は家にいない。子どもの登下校を地域で見守りしてくれたらよいと感じている。

優先課題③ ボランティア・福祉情報の発信

各グループでの関連する意見

Bグループ…高齢者の買物の不便などの問題がある。

Cグループ…福祉やボランティアに関する情報が十分に発信されていない。



Cさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・ボランティア意欲のある男子学生。
- ・授業でボランティアや福祉について学んだことで、これを実践していきたいという意欲を持っているが、実際に自分にどのようなことができるのか、どこに困りごとを抱えている人がいるのかがわからずにいる。
- ・遠くに足の悪い祖父がおり、生活に困っているという話を聞いている。自分の住む地域にももしかしたらそういう人は多くおり、身近な地域にいるから住民こそできることもあるのではないかと感じている。